

OECD 招聘 SHA ワークショップ プログラム

日時:2026 年 2 月 4 日～6 日

場所:国立社会保障・人口問題研究所 会議室

■ 2 月 4 日 午後 セッション 1 OECD による SHA 基礎講義

13:30- 開場

13:45- 開会挨拶 参加者紹介 集合写真

14:00-15:30 1-1 SHA 概要(沿革、データ収集、公表、活用)

1-2 SHA の制度化(OECD)

15:30-15:45 休憩

15:45-17:00 1-3 国際的な文脈において日本はどの位置にあるのか。現在のデータ不足はどこにあるのか。今後どのような課題に取り組むべきか。(OECD)

■ 2 月 5 日 午後 セッション2 実務の進め方

13:30- 開場

13:45-15:00 2-1 JHAQ 報告要件(メタデータを含む)(OECD)

2-2 速報値推計(t-1)(OECD)

15:00-15:15 休憩

15:15-15:45 2-3 SHA の政府統計化にむけた検討状況(IPSS)

15:45-17:00 2-4 今後の進め方(OECD/IPSS)

■ 2 月 6 日 午前/午後 セッション3 推計方法に係る個別課題

10:00-11:00 3-1 LTC(OECD/IPSS)

11:00-12:00 3-2 予防(OECD/IPSS)

12:00-14:00 昼食

14:00-15:00 3-3 入院/外来(OECD/IPSS)

15:00-16:00 3-4 自己負担と医薬品・医療財(OECD/IPSS)

16:00-16:15 休憩

16:15-16:45 3-5 行政費用、その他の課題(OECD/IPSS)

17:00 閉会の挨拶

出席者

OECD 医療課 David Morgan, Michael Muller, 藤澤理恵

井伊雅子(一橋大学大学院経済学研究科 教授)

伊藤由希子(慶應義塾大学大学院商学研究科 教授)

木村剛(国立社会保障・人口問題研究所企画部 部長)

泉田信行(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部 部長)

竹沢純子(国立社会保障・人口問題研究所企画部 室長)

横山真紀(国立社会保障・人口問題研究所企画部 主任研究官)

河村絢也(国立社会保障・人口問題研究所企画部 研究員)

新杉知沙(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部 研究員)

菊池潤(国立社会保障・人口問題研究所 社会保障基礎理論研究部 室長)

今川冬馬(一橋大学大学院 院生)

厚生労働省 保険局 調査課

